

／ きっと、みつかる ／

びゅー あいさい

2024.004

INDEX

- 01-04 愛西市の酒蔵
- 05-06 ブルーベリー狩体験
いちご狩り体験
- 07-08 愛西市の桜の名所
- 09-10 あいさいの城

#ビューっと
あいさい



きっと、みつかる
びゅーあいさい 004
2024年3月発行
第4号 発行部数5,000部
発行/愛西市観光協会 〒496-0943 愛知県愛西市森川町井桁西25番地1 TEL 0567-55-9993



あいさい まちめぐり MAP

① 青木酒造株式会社

〒496-0915
愛西市本部田町本西60
TEL 0567-31-0778

② 渡辺酒造株式会社

〒496-8015
愛西市草平町道下83番地
TEL 0567-28-4361

③ 山忠本家酒造株式会社

〒496-0906
愛西市日置町1813
TEL 0567-28-2247

④ 水谷酒造株式会社

〒496-8016
愛西市鷹場町久田山12
TEL 0567-37-2280

⑦ 相ノ川桜並木 ⑧ ガノタ川桜並木 ⑨ 鶴戸川桜並木

⑩ 親水公園の桜 ⑪ 船頭平河川公園の桜

⑫ 勝幡城 ⑬ 古木江城 ⑭ 大野城 ⑮ 十二城

⑤ ミライフーム

〒496-0903
愛西市内佐屋町佐屋河原1番地
TEL 090-3968-9609

⑥ いちご夢ファーム愛西

〒496-8033
愛西市鶴多須町松原57
TEL 0567-69-6651



愛西市観光協会
URL <http://www.aisaikankou.jp>



愛西市観光協会
ホームページ



愛西市観光協会
Instagram

※本誌内容の無断転載を禁止します

取材 & 撮影/フォトスタジオビュクス 伊藤繁典

手造り清酒 平勇正宗 蔵元

渡辺酒造

Watanabe Sake Brewery



【酒蔵の歴史】
創業は1867年(慶応3年)。戦時中は米不足もあり休業を余儀なくされましたが、終戦後の1956年(昭和31年)に酒造りを復活。現在7代目の渡辺秀幸さんが継承したのは1995年、今年で28年目になります。

【世代を跨いで引き継がれるもの】
かつては木桶を使用し、現在も残っています。使用に耐えなため代わりにホロータンクを使用しています。代々引き継がれた古い機械を現在も大切にメンテナンスしながら使用しています。



【酒造りのこだわり】

愛知県の濃い味の料理に負けないように、濃厚でやや甘口の酒は、地元の人に愛され育まれてきた味。使用しているお米は愛知県のお米「若水」を使用しています。このお米は愛西市でも栽培されています。

【次世代に伝えたいこと】
現在は、妻と二人三脚で頑張っています。三人の子どもには自分の本当にやりたいことに進んで欲しいと思っています。また、酒蔵の継承については、酒造りがしたい方がみえれば、ぜひ酒造りにチャレンジして欲しいと思うので、お声がけいただきたいと思っています。

【愛西市への想い】

歴史深い城や伝統行事が数多く守られてきた地域でもありますので、同様に歴史ある市内の四蔵元も合わせてPRしていただけたらと思います。



7代目蔵元 渡辺秀幸さん(右)と奥様



愛妻家が作る酒

渡辺酒造のお酒は、ヨシヅヤの各店舗及び蔵元直売所にて販売。※直売所での購入は事前連絡要

Facebook



渡辺酒造株式会社
〒496-8015 愛西市草平町道下83番地
お問い合わせ TEL 0567-28-4361
営業時間 AM9:00からPM5:00
冬季は土・日営業/夏期は土・日休業 年末年始は休まず営業

清酒米宗 蔵元

青木酒造

Aoki Sake Brewery



15代目社長 青木拓磨さん(左) 会長 青木春彦さん(右)

【酒蔵の歴史】

創業は江戸時代(文化2年)1805年。1959年(昭和34年)の秋に発生した伊勢湾台風により、蔵も大きな被害を受けました。それまで使用してきた道具は全て失い、現在の道具は13代目の祖父が揃えたそうです。

【酒蔵を継承して思うこと】

8年前に家業を継ぎました。始めた頃は色々辛いこともありましたが、「今は酒造りが楽しくて仕方がありません」と語る拓磨さん。



創業200年という歴史

史に対する気負いはありませんが、その歴史のエッセンスを今この蔵で造っているお酒に込めて創造的なお酒を常に造り続けたいと考えています。

【酒造りへのこだわり】

酒造りは微生物が主役で、私はその微生物がお酒を造りやすい環境を整えてあげることが仕事だと考えています。地元で栽培されたお米「若水」も使い、ここで育つ微生物で、ここでしか造れない青木酒造の酒をご提供できたらと考えています。

【愛西市への想い】

オール愛西で造ったお酒を、もっと地元の方々に飲んでいただけたらと思います。PRしていただけたらと思います。



青木酒造のお酒は、蔵元直売所にて販売

青木酒造株式会社
〒496-0915
愛西市本部田町本西60
営業時間 AM9:00からPM5:00
冬季は土・日営業/夏期は土・日休業
年末年始は休まず営業
お問い合わせ
TEL 0567-31-0778

Home Page



Facebook



Instagram



KOMESOU1805

清酒義侠 蔵元

山忠本家酒造

Yamachu Sake Brewery



日本酒「千瓢」 蔵元

水谷酒造

Mizutani Sake Brewery



5代目水谷政夫さん(左)と酒造り3年目の後藤さんの二人三脚

【酒蔵の歴史】

創業は江戸時代の中期頃。先代から経営方針が大きく変わり、それまでは主に大手メーカーのお酒を製造していましたが、自前の良質な酒造りに力を注ぐようになりました。その先代のお酒造りに対する思いを継承したいと話す11代目蔵元の山田昌弘さん。

【酒蔵を継承した経緯と決意】

三人兄弟の末っ子であった私が、父(先代)に酒蔵を継がせて欲しいとお願いました。11代目とはいえ、大きな変革を進めた父から2代目という気持ちで、先代が創り上げてきたお酒造りを継承することはもちろん、先代が目指していた事、やりきれなかった事を自分なりに考え理想に近づけるよう日々社員と共に奮闘しています。



【酒造りで大切にしたいこと】

酒蔵は大変重要で酒造りの中心です。現在の建物は古い物から明治時代、昭和の中期頃、一番新しいもので平成10年築。古いものもメンテナンスしながら大切に使い続けています。また、酒造りで大切なものは「お米」です。良いお米を使って良いお酒を造りたいのですが、それには米作り農家の方々の安定した農業経営が欠かせません。私たちがこれから先、100年、200年と酒造りをするには双方の需要と供給が安定して持続できる仕組みをつくる必要があると考えています。

【愛西市への思い】

若い人が活躍できる街になると良いと思います。そのために若い人が働きやすい環境を整え、街に若者が増え元気な街になると良いと思います。



● 山忠本家酒造のお酒は全国約80件の酒店及び蔵元直売所で販売

山忠本家酒造株式会社 〒496-0906 愛西市日置町1813
営業時間 AM9:00からPM5:00 休業日/土、日、祝日
※5月～8月の休業日は金、土、日、祝 TEL 0567-28-2247
販売酒店等、詳しくはホームページをご確認ください。

HOME PAGE



【酒蔵の歴史】

創業は江戸時代末期。200年あまりの歴史があり、初代水谷治右衛門から現在五代目の水谷政夫さんによって蔵元は守り続けられています。

初代水谷治右衛門が創業時に、武将であるにも関わらず階級による分け隔てをしない豊臣秀吉に親を感じ、秀吉の旗印であった「千成瓢箪」に肖って「千瓢」の商標で酒造りを始めたと言われています。酒蔵は創業当時の江戸末期、大正時代、昭和時代に建て増しされ、江戸蔵は「酒を搾る」、大正蔵は「仕込み」、昭和蔵は「主に洗米や米を蒸す」工程に使用しています。

【酒造りへのこだわり】

時代や流行に左右されない「飲み飽きせず朗らかな気持ちで杯がすすむ」お酒を目指しています。酒造りに使用する水は純水が理想で、お米は現在4種類を使用。中でも「夢吟香」という品種のお米を地元農家さんと連携して栽培を行っており、このお米を積極的に使用しています。

【次世代に伝えたい事】

ぜひ地場のものや様々な美味しいものに触れ、食を楽しんで、舌(味覚)を鍛えてください。食に係る仕事に就きたい方は、味を分析して理解する努力を心がけることも大切だと思います。

【愛西市への想い】

地場産業を育て、活気ある街になることを期待しています。

水谷酒造のお酒は、蔵元直売所で販売

水谷酒造株式会社
〒496-8016
愛西市鷹場町久田山12

営業時間 AM9:00からPM5:00
不定休

お問い合わせ
TEL 0567-37-2280

ホームページからもご購入いただけます。
また、お取り扱い店リストやイベント情報等もホームページから確認いただけます。

Home Page



Facebook





いちご狩り体験
新鮮完熟いちごを楽しむ

西尾張の木曾川沿い、愛知県愛西市に広がる緑豊かな田園風景の中に、「いちご夢ファーム愛西」は2017年の冬に開園しました。高設栽培の園内では土で汚れることなく、人気の「ゆめのか」の他、「紅ほっぺ」「かおり野」「かなひめ」など、それぞれに特徴のある新鮮な完熟いちご狩り体験をお楽しみいただけます。



いちご夢ファーム愛西

●新鮮な摘みたていちごを、より多くの方に味わっていただくために、朝摘みいちごの直売を行っております。(売り切れ次第終了となります)

【イチゴ作りのこだわり】

健康なイチゴを作ること、その栽培での工夫です。健康なイチゴとは①病害虫に侵されない、②しっかりした樹勢、③豊かな実成りです。そのような栽培管理をすることで健康で美味しいイチゴに育ち、来園されたお客様に喜んでいただけることに繋がります。

【どんな種類のイチゴがありますか?】

最も多い品種は「ゆめのか」になります。この品種は愛西市で一番作付けが多く大変人気のイチゴです。次に「紅ほっぺ」、「かおり野」、「かなひめ」になります。「かなひめ」は愛媛県で作られた品種で近隣ではまだまだあまり栽培されていない品種です。それぞれに甘さや酸味が異なり個性のある美味しいイチゴです。

【農園の特徴と楽しみ方】

農園は約1,800坪の広さがあり施設の天井高が6メートルと開放的で、明るい日差しを感じていただきながらイチゴ狩りを楽しんでいただけます。高設栽培ですのでイチゴ狩りの際も、泥で衣服が汚れることはありません。

【愛西市への思い】

私たちの仕事が新しい農業を目指す新規就農の方々へ何かの貢献や援助になればいいなと思っています。また、地域の方々とコミュニケーションを通して私たちが含めてもっと農業が広がってほしいなと思っています。



場 所	いちご夢ファーム愛西 愛西市鵜多須町松原57
営業期間	イチゴ狩り 12月下旬~5月下旬
営業時間	9:00~17:00
イチゴ狩り	9:30~14:30 (最終入園) ※時期により15:00あり
料 金	大人(中学生以上) 2,300円(税込)~ 小学生 1,800円(税込) 幼児(3歳以上) 1,500円(税込) ※料金は時期により異なりますので ホームページでご確認ください。 ●10名様まで(HPより予約可) ●11名様以上は団体予約(電話にて予約) ●20名様以上は100円/人団体割引有
40分 食べ放題	
ご予約 お問合せ	TEL 0567-69-6651

INSTAGRAM



facebook



HOME PAGE



ブルーベリー狩り体験
「ミライファーム」がつむぐ、幸せ空間

名古屋から車で約30分の愛知県愛西市にある、遊んで学べる新感覚ブルーベリー農園のミライファーム。農園では皮ごと食べられる安全・安心・新鮮な60種類のブルーベリーが時間無制限食べ放題や、ゆっくりとくつろげるカフェも併設。ジェラード作り体験もでき、施設全体がバリアフリーの、人に優しい農園をご紹介します。



遊んで学べる農園「ミライファーム」
MIRAI FARM



LINEで予約

LINEで友だち登録していただき、予約できます。

LINE



INSTAGRAM



HOME PAGE



場 所	ミライファーム 愛西市内佐屋町佐屋河原1番地
営業期間	6月初旬~8月中旬を予定
営業時間	9:00~16:30
料 金	大人(中学生以上) 2,500円(税込) 小学生 1,600円(税込) 幼児(4歳以上) 1,000円(税込)
0~3歳は 無料	
ご予約 お問合せ	TEL 090-3968-9609

【カフェ】

暑い屋外でのブルーベリー狩り後は、空調管理された涼しいトレーラーハウスカフェでゆったり過ごすことができます。モダンでシンプルなデザインのカフェは、明るく木の温かみを感じられ、テラスには霧発生装置が完備され、カフェテラスでも涼しく快適にくつろげます。室内は、4人掛けのテーブルが4席、テラス席には4人掛けのテーブルが3席、3人掛けのソファが1席用意され、ゆったりとした時間を過ごせます。

【やさしい農園】

「おむつ替えシートやベビーキープ」を完備した、きれいなトイレが用意されています。農園内はバリアフリーで、通路も広めに作られており、ベビーカーでも安心して利用できます。木の剪定を工夫し、ブルーベリーが小さな子どもたちでも手の届くよう配慮されています。足元もきれいに保つために地面にはシート設置。おいしいブルーベリーの見分け方や食べごろの種類などの説明も聞くことができます。

【ブルーベリージェラート巻き巻き体験】

農園では楽しみながら学べる「ブルーベリージェラート巻き巻き体験」も。子どもたちに体験を通して出来たという自信を持ってもらえるように、屋外でブルーベリーを見て、触れて、自分の手を動かして「やってみよう」を叶えられる工夫をしています。ジェラートも日本最高位のグラシエと手掛けた、こだわりの口どけ滑らかな絶品ブルーベリージェラートです。



- 時間無制限、60品種以上のブルーベリー食べ放題!
- 世界大会入賞のグラシエがつくる絶品ジェラード!巻き巻き体験
- エアコン完備のカフェスペース。きれいなトイレにおむつ交換台設置。

愛西市の

桜の名所



親水公園の桜

親水公園からゲノタ川桜並木の川沿には遊歩道が繋がっており、桜の開花シーズンにはゆっくり散歩をしながら花見を楽しめます。
【場所】愛知県愛西市落合町上通21(親水公園内)



GoogleMapで場所を確認!



船頭平公園の桜

国の重要文化財に指定されている「船頭平閘門」は明治時代に木曾、長良、揖斐の三川が分流され、水上交通が盛んであった当時、木曾川と長良川を船で行き交うことができるように設けられました。船頭平公園はこの船頭平閘門周辺を整備した際、船頭平閘門の南西(長良川側)に開設された公園で、植栽されたソメイヨシノは春に咲き誇り歴史ある風景に彩を与えます。
【場所】愛知県愛西市立田町十六石山(船頭平公園内)

GoogleMapで場所を確認!



相ノ川桜並木

古瀬、千引地内を流れる相ノ川堤にある見事な桜並木。開花の時期には、さくら祭りも催され、大勢の花見客で賑わいます。ライトアップがされるので、夜桜がお勧めです。
【場所】愛知県愛西市古瀬町郷内(古瀬公園付近)

GoogleMapで場所を確認!



鵜戸川桜並木

立田輪中を南北に貫き、輪中の水を排水するために作られた鵜戸川に沿って、春には美しい桜が咲き誇り市民を魅了しています。
【場所】愛知県愛西市江西町宮西38-38(八開総合福祉センター付近)

GoogleMapで場所を確認!



ゲノタ川桜並木

愛西市役所の南側を流れるゲノタ川に沿って、約300mの桜並木は佐屋地区随一の桜の名所となっています。
【場所】愛知県愛西市稲葉町米野308(愛西市役所付近)

GoogleMapで場所を確認!



古木江城 (小木江城)

古木江城の規模

城の規模など詳細は不明ですが、天守閣がある城ではなく、屋敷の周囲を堀や堀で囲んだ城であったと考えられます。当時、城の東には佐屋川(明治時代に廃川)が流れていました。

古木江城の歴史

築城・廃城年は不明ですが、1570~1574年にかけて起きた長島一向一揆の際、織田方の城として使われたことがわかっています。古木江城は立田輪中の南端にあり、木曾川をはさんで長島城(三重県桑名市)の対岸に位置していたとされ、「愛知県史」では、古木江城の築城と一揆の攻撃対象となった理由として「織田方から長島に対応するために築城されたものと思われ、一揆もそれを認識して、信長の北近江浅井攻めの際をみて攻撃した」と記述されています。



古木江城跡

愛西市森川町
村仲付近

GoogleMapで
場所を確認!▶



大野城

愛西市大野町郷前付近

GoogleMapで
場所を確認!▶



大野城の規模

城の規模など詳細は不明ですが、天守閣はなく、屋敷の周囲を堀や堀で囲んだ城であったと考えられます。現在、城があったと考えられる場所の東には大膳川と日光川が流れています。

大野城の歴史

築城年は不明ですが、「蟹江町史」「佐屋町史」によると佐久間正勝により築城された蟹江城(愛知県蟹江町)の支城の一つとされています。本能寺の変で自害した織田信長の後継者をめぐり、羽柴秀吉方と織田信雄(信長の子)・徳川家康方に分かれて争った、小牧・長久手の戦いに連動した蟹江合戦で、信雄・家康方の城として使われました。大野城の廃城年は「永和村誌」では1584(天正12)年のこととされていますが、詳細は不明です。



大野城址 愛西市指定文化財

十二城

愛西市町方町十二城付近

GoogleMapで
場所を確認!▶



十二城の規模

十二城の名前の由来は12の棟をもつ豪勢な館であったという事が、言い伝えられているそうです。

十二城の歴史

十二城は板垣冠者兼信の館址といわれていますが詳細については不明です。板垣冠者兼信は「吾妻鏡」の1188(文治4)年2月2日条の「修理大夫家 尾張國津嶋社板垣冠者不辨所當之由事」にその名が見え、津嶋社ゆかりの人物であったことがうかがえます。板垣兼信は、戦国時代に甲斐国で活躍した武田信玄の家老・板垣氏、あるいは、明治時代に活躍した政治家・板垣退助の先祖とされます。現在、唯称寺入口に「十二城址」の石碑があります。



十二城址

2005(平成17)年に海部郡佐屋町・立田村・八開村・佐織町が合併して愛西市は誕生しました。愛西市には比較的知名度の高い「勝幡城」が、隣接する稲沢市との境界をまたぐ形で存在します。また、この城を含めて市内には10カ所の城があったとされています。しかし、現在は天守閣、石垣、堀など残っているものはありません。1991年3月に愛知県教育委員会から発行された「愛知県中世城調査報告I(尾張地区)」を参考に4つの城についてご紹介いたします。

【勝幡城・古木江城・大野城・十二城】

愛知県教育委員会発行「愛知県中世城調査報告I(尾張地区)」参考

愛西市城跡一覧

地区名	名称	所在地	使用年	城主	規模
愛西	西保城	西保町城之内	—	織田三十郎	—
愛西	大野城	大野町郷前	—	(山口重政)	—
愛西	早尾西城	早尾町	—	—	—
愛西	早尾東城	早尾町村北	—	橋本大膳	東西1町(約108m) 南北30間(約54m)
愛西	田尻城	三和町田尻	—	—	—
愛西	古木江城	森川町村仲	—	(織田彦七郎)	—
愛西	石田城	石田町村前	—	—	東西40間(約72m) 南北60間(約108m)
愛西	赤目城	赤目町	室町時代~	横井時永~	—
愛西	十二城	町方町十二城	1188(文治4)年頃	(板垣兼信)	—
愛西・稲沢	勝幡城	勝幡町墨田 稲沢市平和町 城之内	永正年間1504~1521年	織田信定	東西114間(約205m) 南北120間(約216m)
			1527(大永7)年~	織田信秀	
			1538(天文7)年~	武藤掃部	

あいさいの城



使用年代や規模が不明な城が多く、また資料によって名称が異なる城もありますが、市内に10カ所の城があったことが分かります。

勝幡城

愛西市勝幡町墨田周辺

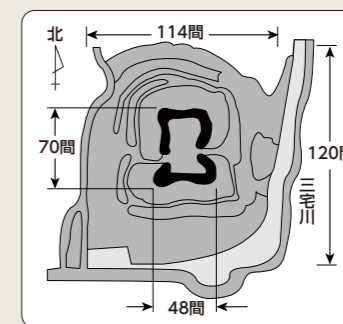
GoogleMapで
場所を確認!▶



勝幡城の規模

江戸時代に書かれた「尾陽雑記」や「中島郡勝幡村古城絵図」には、その大きさが記載されており、屋敷のあったとされる中心区画の周囲は高さ約2.7m~3.6m×幅5.4mの土塁に囲まれ、さらに土塁の東南隅には櫓があったと考えられており、また、城の東側と南側を囲むように三宅川が流れていたそうです。

勝幡城縄張図▶



勝幡城跡

勝幡城の歴史

勝幡城は永正年間1504~1521年、織田弾正忠信定によって当時湊町・門前町として栄えていた津島をおさめる為に築城されました。1527年には織田信秀(信長の父)の家督が譲られて城主となり、1534年には織田信長が生まれました。その4年後の1538年に信秀が那古野城の奪取に成功して居城を移したため、家臣の武藤掃部が城主になりました。しかし、この数年後に勝幡城は廃城したと考えられます。城跡は、1784年(天明4)年に行われた日光川改修によって城の中心区画が河川となり、周辺も後世の開発によって姿を消しました。



織田弾正忠朝臣信定古城跡
稲沢市指定文化財



伝勝幡城の石

愛西市佐織支所には、「伝勝幡城の石」が置かれています。この石は1979(昭和54)年に工事を行った際に発見されました。